

プログラム

- 15:00～15:10 開会挨拶 笹川平和財団常務理事 茶野順子
- 15:10～15:40 基調講演：「災害時の公衆衛生システム復興とは」WHO 神戸センター
アート・ペシガン
- 15:40～16:10 「被災地の保健機能復興と経験共有」事業の取り組みを通じて見えてきた課題
東北大学大学院医学系研究科教授・地域保健支援センター副センター長 押谷 仁
- 16:10～16:30 映像記録上映・解説、東北大学大学院医学系研究科 佐藤 真理
- 16:45～17:45 公衆衛生の専門家からのコメント：

東北大学病院 総合地域医療教育支援部教授 石井 正：「石巻医療圏における対応から見えてきた課題」
国立国際医療研究センター国際医療協力局 村上 仁：「東松島市の教訓と今後」
浜松医科大学健康社会医学講座教授 尾島 俊之：「日本の公衆衛生システムの課題」
国立保健医療科学院健康危機管理研究部長 金谷 泰宏：「日本の自然災害に対する公衆衛生対応システム」
- 17:45～18:30 パネル・ディスカッション、質疑応答：「今後はどう備えるべきか」
モデレーター：押谷 仁

Press Release :

FAX to : 03-6229-5473 (笹川平和財団事業部)

笹川平和財団主催 ワークショップのご案内
災害後、命と健康をどう守るのか
「東日本大震災の教訓：公衆衛生機能の復興の観点から」
2013年3月11日（月）開催
申込用紙

笹川平和財団 電話：03-6229-5437

TEL: 03-6229-5437、Email: m-kato@spf.or.jp

(送信期限：締切日は3月7日（木）とさせていただきます。)

□3月11日（月）のワークショップ参加希望

フリガナ

お名前： _____

御社名： _____

部課名： _____

役職： _____

ご住所： _____

TEL: _____ FAX: _____ E-mail: _____